

銘傳大学日本語教育実習

プログラム区分	海外実習	
主幹部署・問合せ先	国際日本学科	
研修先国・都市名	台湾・桃園市	
研修先	銘傳大学	
プログラム概要	<p>銘傳大学での 2 週間にわたり日本語教員養成のための教育実習を実施する。その主な内容は以下の 4 点である。</p> <p>(1)銘傳大学における各種日本語授業の参観、および高校の日本語授業でのプレゼンテーション、授業アシスタント</p> <p>(2)銘傳大学での教壇実習のための事前指導、および教材作成などの準備</p> <p>(3)2 回の教壇実習と事後の指導</p> <p>(4)実習報告書の作成</p> <p>実習中は、銘傳大学が提供する宿泊施設に滞在し、桃園キャンパスで教育実習を行う。銘傳大学の学生たちと頻りに交流の機会を持ち、台湾人学習者の視点から日本語教育について考え、同世代の台湾人学生との交流や異文化体験を通して、異文化コミュニケーションについて考える機会が得られる。</p> <p>日本語教師志望者だけでなく、中・高等学校の国語教師を目指す学生にとっても貴重な体験が得られる実習である。 銘傳大学での 2 週間にわたり日本語教員養成のための教育実習を実施する。その主な内容は以下の 4 点である。</p> <p>(1)銘傳大学における各種日本語授業の参観、および高校の日本語授業でのプレゼンテーション、授業アシスタント</p> <p>(2)銘傳大学での教壇実習のための事前指導、および教材作成などの準備</p> <p>(3)2 回の教壇実習と事後の指導</p> <p>(4)実習報告書の作成</p> <p>実習中は、銘傳大学が提供する宿泊施設に滞在し、桃園キャンパスで教育実習を行う。銘傳大学の学生たちと頻りに交流の機会を持ち、台湾人学習者の視点から日本語教育について考え、同世代の台湾人学生との交流や異文化体験を通して、異文化コミュニケーションについて考える機会が得られる。</p> <p>日本語教師志望者だけでなく、中・高等学校の国語教師を目指す学生にとっても貴重な体験が得られる実習である。</p>	
日程	2027 年 3 月上旬～2027 年 3 月中旬 (2 週間)	
単位認定	合計 2 単位 日本語教育実習 E (海外) (1 単位) 日本語教育実習指導 E (1 単位)	
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-	
内容	語学研修：無	語学研修以外の内容：有
引率者の有無	全日程	
住形態	ホームステイ	
参加費用 (概算・見込み)	参加費総額： 230,000 円/人 大学補助金： 最大 110,000 円	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・上記内容は変更する場合がある。本実習の詳細は、募集説明会の際に確認すること。 ・実習参加前までに履修しなければならない科目がある。詳細は、学科事務室に問い合わせること。 ・台湾渡航前に 15 コマの集中講義「日本語教育実習指導 E」を行う。この授業にすべて出席し、事前課題の提出が完了していることが教育実習参加の条件である。 	

体験記

銘傳大学日本語教育実習に参加して

氏名：伊藤優里（2025年度参加）

台湾・桃園市の銘傳大学で、3月8日から21日までの2週間、日本語教育実習に参加しました。短い期間ではありましたが、多くの学びを得られ、自分自身の成長を実感できる貴重な経験となりました。

実習では、各実習生が2コマの授業を担当しました。私は今回が初めて教壇に立つ機会です。実習前は大きな不安を感じていました。しかし、指導教員の先生が親身になってご指導くださり、私のしたい授業を形にすることができました。当日は緊張しながらも、楽しんで授業を行うことができ、学生が笑顔で取り組んでくれている様子が印象に残っています。一方で、誤用の訂正や時間の配分が十分にできなかったことなど、課題も残りました。それでも、すべての授業を終えたときには大きな達成感を感じました。

また、現地のボランティアの方々に温かく迎え入れていただき、多くの交流の機会をいただきました。授業後に桃園駅周辺へ出かけたり、休日には台北市内を観光したりしました。台湾の街の雰囲気や食文化に触れる中で、新たな価値観を得ることができました。現地の方々と共に過ごした時間もとても貴重であり、常に私たちのことを気遣ってくれる姿から、優しさや温かさを感じ、感動しました。

今回の実習では、多くの方々に支えられ、充実した日々を過ごすことができました。この経験を今後に活かしていきたいと考えています。最後に、関わってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

